

# 第 28 回 経営協議会議事録

日 時 平成 21 年 3 月 12 日 (木) 10:10~12:30  
場 所 本部棟大会議室  
出席者 長澤学長, 伊藤理事, 牧野理事, 棚橋理事, 前田副学長, 山口事務局長,  
大社委員, 鈴木 行生委員, 鈴木 広子委員, 山本委員, 渡辺委員  
欠席者 砂川委員  
陪席者 西村監事, 竹川監事, 本江副学長, 宮本副学長

議事に先立ち, 議長から, 1 月 15 日開催の第 27 回経営協議会議事録については, 案を事前に電子メールにて構成員に配付し内容の確認を行ったところ, 特に修正箇所がないことから, 原案どおり確定したい旨諮られ, 承認した。

## 議 題

### 1) 平成 21 年度の年度計画及び実施計画について

議長から発議のあと, 宮本副学長から, 資料 1 に基づき, 平成 21 年度の年度計画及び実施計画に関する事項について説明があった。

構成員から以下のような発言があった。

- ・ 教育の部分で作業項目があるだけで目標が見えず, 研究と教育の関係も見えにくい。
- ・ 教育研究が実社会でどの程度役立つかということを学外へ発信する必要があるのではないか。また, そのような発信を研究者のインセンティブにしたり, 学生の就職の際にアピールしてはどうか。

審議の結果, 原案どおり承認した。

### 2) 帯広畜産大学畜産学部附属家畜病院の名称変更およびイングリッシュ・リソース・センター(ERC)の設置に伴う関係規則等の整備について

議事の前に, 議長から, 国立大学法人帯広畜産大学経営協議会規程第 7 条に基づき, 説明者として附属家畜病院長の宮原教授を出席させる発言があり, 了承した。

議長から発議のあと, 伊藤理事から, 資料 2-1~2-6 に基づき, 附属家畜病院の名称変更及びイングリッシュ・リソース・センター(ERC)の設置に伴う関係規則等の整備について, 説明があった。

続いて, 宮原教授から, 診療料金改定の概要及び建物の図面について説明があった。

附属家畜病院について構成員から, 以下のような発言があった。

- ・ 収支のバランスはどうなっているのか, また, 収益の目標値はどれくらいか。

イングリッシュ・リソース・センターについて、構成員から、以下のような発言があった。

- ・ 学生だけでなく、教員の英語も見るのはいいが、専任教員が少ないのではないか。
- ・ 学部学生の英語はまめにみる必要があり、教員よりチューターや留学生に見てもらおうほうが勉強になるので、積極的に TA を活用したほうがよいのではないか。

審議の結果、原案どおり承認した。

### **3) 帯広畜産大学職員就業規則等の一部改正について**

議長から発議のあと、伊藤理事から、帯広畜産大学職員就業規則等の一部改正の概要について説明があった。

引き続き、総務課長から、資料 3 に基づき、改正内容について説明があった。

審議の結果、原案どおり承認した。

### **4) 平成 21 年度予算実施計画(予算配分)について**

議長から発議のあと、伊藤理事から、資料 4 に基づき、平成 21 年度予算実施計画(予算配分)について、自己収入の増や、人件費削減の取り組み等により生じた財源を基に、運営費交付金の効率化減に対応しつつも、教育研究経費の増額を図ることができた旨説明があった。

続いて、竹川監事から、消費税の節税について説明があった。

審議の結果、原案どおり承認した。

### **5) 「長期借入金の認可申請」及び「長期借入金償還計画の認可申請」について**

議長から発議のあと、伊藤理事から、資料 5-1、5-2 に基づき、「長期借入金の認可申請」及び「長期借入金償還計画の認可申請」について説明があった。

審議の結果、原案どおり承認した。

### **6) 北海道地区国立大学法人の資金運用の共同化(J ファンド)について**

議長から発議のあと、伊藤理事から、資料 6 に基づき、北海道地区国立大学法人の資金運用の共同化(J ファンド)について説明があった。

構成員から以下のような発言があった。

- ・ 共同体で運用する際の責任は、そのつど明確にしていく必要があるのではないか。
- ・ 共同購入により、大学の金が地元に戻らず、中央に吸い上げられ、地元の経済に悪影響がでないよう配慮してほしい。
- ・ 上手くいかなかった場合の対応も考える必要があるのではないか。

審議の結果、原案どおり承認した。

## 報告事項

### 1) 教員の選考について

伊藤理事から、資料7に基づき、前回の経営協議会以降に教育研究評議会において承認された、10件の教員人事について報告があった。

### 2) 平成20年度重点推進事項について

伊藤理事から、資料8に基づき、平成20年度重点推進事項の進捗状況について報告があった。

最後に、構成員から、以下のような発言があった。

- ・ 次期中期計画において、地域の産業振興についても考慮していただきたい。
- ・ 研究だけでなく、その成果としてどのようなものを生み出して産業に役立てるかが明確になっていると、地域振興になるのではないか。
- ・ 大学には、「アグリバイオ産業のための人材育成事業」などの地元企業を対象とした人材育成や、雇用創出の面でも期待している。

議長から、第29回経営協議会は、4月16日(木)10時から、本部棟大会議室において開催する予定である旨の発言があった。

以 上